

高等学校 地理歴史科

地理総合

定期テスト対策

想定問題集

高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）準拠／大学入学共通テスト対応
— 問題編 —

想定問題 13 回分＋巻末ドリルの問題編です。

小問ごとに、左が問題文、右が解答らんになっています。

すべて 100 点満点です。時間を計って解きましょう。

答え合わせは、別冊の「解答・解説編」で行ってください。

目次

■ 範囲別想定問題

- 第1回 地球のとらえ方と地図・時差
- 第2回 日本の位置と領域／世界の国々
- 第3回 結び付く世界／地図と GIS
- 第4回 世界の地形
- 第5回 世界の気候
- 第6回 衣食住・言語と宗教
- 第7回 地球環境問題／資源・エネルギー
- 第8回 人口・食料・都市／地球的課題
- 第9回 日本の自然環境と地震・火山
- 第10回 気象災害・防災／地形図と地域の調査

■ 総合想定問題

- 第11回 総合（前半範囲）
- 第12回 総合（後半範囲）
- 第13回 共通テスト型（全範囲）

■ 巻末資料

- 巻末資料① 計算スピードドリル 40 問
- 巻末資料② 記述問題対策 15 題
- 巻末資料③ テスト直前チェックリスト

◆ この冊子の使い方

- ・この冊子は、教科書のまとめではなく「テストに出る形」で問う想定問題集です。本冊『地理総合 学習プリント』で覚えたことを、テストの形で確かめるために使ってください。
- ・第Ⅰ部は範囲別の 10 回です。学校のテスト範囲に合う回を選んで解いてください。各回の冒頭に、本冊のどの章にあたるかを書いてあります。
- ・第Ⅱ部は総合 3 回です。第 11 回は前半範囲、第 12 回は後半範囲、第 13 回は全範囲の共通テスト型です。
- ・すべて 100 点満点です。制限時間を計り、時間内に解ききる練習をしてください。目標は 80 点。70 点を下回った回は、本冊の対応する章に必ずもどること。
- ・答えは右の解答らんには書きこみます。（ア）のような空らんには、解答らんの同じ記号の行に書いてください。図の中の記号を答える問題も同じです。
- ・解答らんの行数は、答えのおおよその分量に合わせてあります。行が足りないときは欄外に書いてかまいません。

第1回 地球のとらえ方と地図・時差

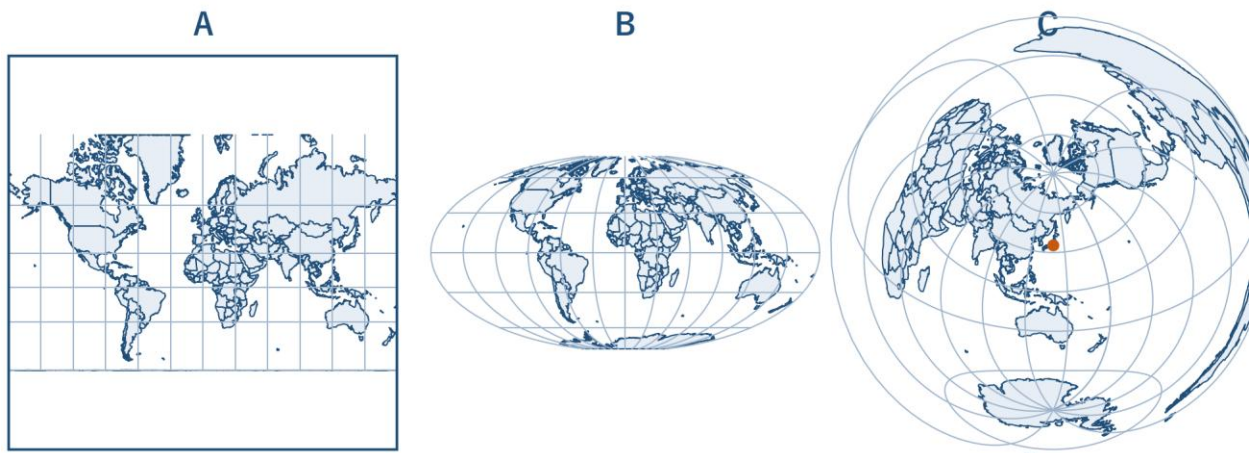
〔出題範囲〕 本冊 第1章～第3章 〔制限時間〕 30分 〔配点〕 100点満点

■ 第1問 次の文中の（ ）にあてはまる語句や数を答えよ。〔各3点 計30点〕

(1) 地球は赤道方向にわずかにふくらんだ球形で、全周は約（ ア ）万 km である。表面積のうち海洋がしめる割合はおおよそ（ イ ）割である。	ア イ
(2) 赤道を0度として南北にはかった角度を（ ウ ）、本初子午線を0度として東西にはかった角度を（ エ ）という。本初子午線は、イギリスの首都（ オ ）を通る。	ウ エ オ
(3) 緯度1度分の南北の長さは、地球上のどこでもおおよそ（ カ ）km である。	カ
(4) 地球の中心をはさんで、ある地点の正反対にある地点を（ キ ）という。	キ
(5) 地図で面積が正しく表される図法を（ ク ）図法、中心からの距離と方位が正しく表される図法を（ ケ ）図法という。	ク ケ
(6) 地球上の2地点を結ぶ最短経路を（ コ ）という。	コ

■ 第2問 次の図1を見て、あとの問いに答えよ。〔問1 各4点 問2～問4 各4点 計24点〕

図1 三つの世界地図



※三つとも同じ地球を表しているが、正しく表される性質がそれぞれ異なる。Cの中心は東京である。

問1 図1のA～Cの図法の名前を、それぞれ答えよ。	A B C
問2 Aの図法の説明として正しいものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。 ア 面積が正しく表される。 イ 中心からの距離と方位が正しく表される。 ウ 経線と緯線が直角に交わり、等角航路が直線になる。 エ 二地点を結んだ直線が、つねに最短経路になる。	
問3 東京から世界の各都市への航空路線図をつくる時、最も適しているのはA～Cのどれか。記号で答えよ。	
問4 Aの地図では、高緯度地方の面積はどのように表されているか。「グリーンランド」の語を使って30字程度で説明せよ。	